自然体感型アートワークショップ Vol.3

# ① 水と土であそぼう

四国中央市のおやこアート体験事業ドキュメント

2025 年 2 月 9 日　　美術講師　松岡美江

自然界のエレメント＝自然の５要素　地・水・火・風・空のうち　第三弾として水と土をテーマに
見えないものを感じながら、体験する体感遊びのような自然体感型アートワークショップです

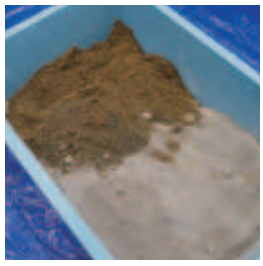
**準備物**　土各種・紙類・容器各種・すり鉢・ふるい・網・スポイト・箸・スプーン・紙粘土・紙類・テープ類・シール類・ペン類・袋類・ハサミ・ライト

**テーマ**
・水と土を研究してみる
・お花を生けてみる

午前の部 10:00 ～ 12:00
午後の部 14:00 ～ 16:00

日常の生活の中でとても身近にある水と土。土遊びが好きな子どもたちは、普段どのように遊んでいるのでしょうか？前半は、いつもとは違って土の中の世界や、水と土が混ざるとどのように変化するのかなど、色んな道具を使って小さな研究員に大変身。後半は感触はそのままに、紙粘土を使ってお花を飾れる「花瓶みたいなもの」を製作し、最後には折り紙やシールを使用して作った花を生けてみました。

色んな場所から土がやってきた！



畑や土嚢用の土など色や粒の大きさが異なる色んな土が並びました。

普段どこで土を見かけるかな？

土ってどうやってできるのかな？

土で何が育つ？

普段の遊びの延長線上から、手の感触や匂いの違いなど普段通り過ぎてしまいそうな感覚を研ぎ澄まして、コップやお皿に土を選び、自分たちの入り口から土を研究し始めます。

土の中には何があるんだろう？
水の量を少しずつ変えて

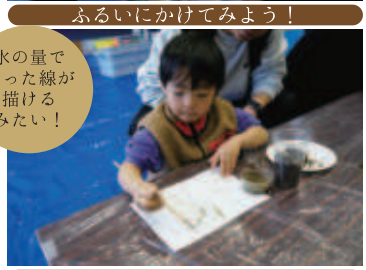
料理みたいになってきたね

ふるいにかけてみよう！

究極のサラサラな土ができた！
土の通り道がヘビみたい！

すり鉢で擦ってみようかな！

色んな道具を使ってみよう！


水の量で違った線が描けるみたい！
絵の具みたいになったよ

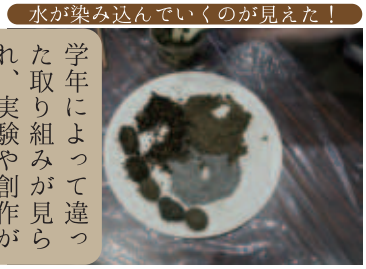
水が染み込んでいくのが見えた！

水の膨らみが不思議だったよ
スポイトを使って一滴ずつ

水が流れて行くところを観察
光を当てると鮮明に見えるよ

濾してみたり混ぜてみたり

学年によって違った取り組みが見られ、実験や創作が行われていました


色んなお団子ができました

自然体感型アートワークショップ Vol.3

# ②水と土であそぼう

四国中央市のおやこアート体験事業ドキュメント

2025年2月9日

美術講師　松岡美江

まずは平らに伸ばしてみよう

コップを型にして花瓶作り

次は紙粘土を使って「花瓶みたいなもの」を製作します。お花をどこかに飾ることできればあとは自由！どんな入れ物が誕生するのでしょうか？

水を使って滑らかに

頭にお花が咲くようになっているよ！

頭に浮かぶアイデアを繰り返し表現していました！

それを全部残すことはできないけれど、完成のない素敵な作品へ

だんだん顔が！？

何度も形に変化が！

陶芸のように腰を入れて！

子どもたちの発想力をサポートしながら力を合わせて進めて行きます

生き物や乗り物など複雑な形がたくさん♩

お気に入りのものや分類できた土は袋に入れて持ち帰る準備をし、土の感触はそのままに紙粘土に移行しました。どんな形にし、どこにお花を入れられるようにするのか、最初は水分量が足りずパサパサになってしまったり、どうやって空洞にするのか試行錯誤させながら、止まらないアイデアをそっと見守る姿や、子どもたちのやってみたいこと親子で協力する姿も見られました。この状態で持ち帰り、自宅でゆっくりと乾燥させて装飾や色付けを行います。

花びら一枚一枚に色んなアイデアが詰まっています！

茎の部分は筒状で

丸いシールで花びらに

使い方や組み合わせで色んなお花が育ちました

立体的なお花も発見！

色んな折り方を活用して

一輪挿しみたいになったよ！

花瓶とお花がバッチリリンク！

切り絵の大きな花に！

お花の仲間たちも一緒だよ

時間いっぱいまで使って想像力豊かなとても個性的な花瓶が完成！最後に、画用紙や折り紙、マスキングテープなど色んな紙を使ってお花を製作しました。花紙をふっくらとさせていたり、丸いシールが花びらだったり水と土の力で育ったお花のようです！

お花一つ一つの中に色んな技法が詰め込めれていました！

自然体感型アートワークショップ Vol.3

# ③ 水と土であそぼう

四国中央市のおやこアート体験事業ドキュメント

2025 年 2 月 9 日

美術講師　松岡美江

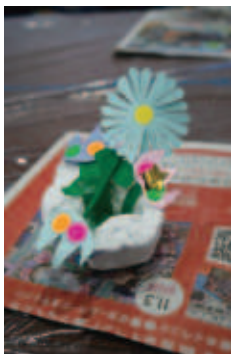
午前･午後の部と色とりどりのお花と花瓶みたいなものが完成しました。ここに辿り着くまでに､乗り物になったり昆虫になったり変化を繰り返し、いく通りもの過程があるものや、土台とパーツを親子で担当を分けたもの、納得がいくところまで何度も挑戦したものなど作品の中には色んなストーリーが刻まれています。

唯一横向きに入る花瓶！靴型になっていました

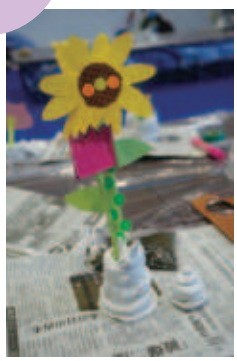
電車が運ぶ花。旗の装飾や細かな部分まで行き届いています

カラフルなお花がたくさん！一つ一つ作り方が違っています

うさぎ型や花瓶自体がお花のようになっているものも！

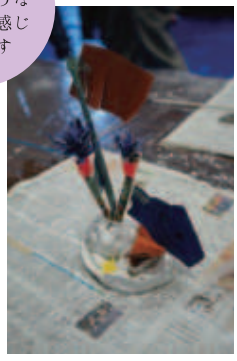


まさに陶芸のような手法で土台からしっかり作られています



ここに辿り着くまでの過程が詰まった作品！かっこいい表現ですね

小さな一つの世界のような広がりを感じられます



今年度の「自然体験型アートワークショップ」も夏のひかり、秋のかぜと続き、冬の水と土で 3 回の活動を終えました。子どもたちが普段体感している自然の世界を、色んな年齢の子どもたちとともに、アートと掛け合わせることでいつもとは少し違った視点で楽しめたのではないかと思います。このような取り組みを通して心を育てることで、自分たちのふるさとにある文化や未来の環境などに目を向けるきっかけとなり、子どもたちからまた次世代に繋がっていく気がします。アート活動では、子どもたちの成長の過程で技術や表現を育てながら、広いものの捉え方や主体性を持って選択していけるようなヒントが溢れていると思います。それは大人になった自分も含めて、子どもたちと共に活動することで、心がほぐれる瞬間や視野が広がることに気づくきっかけになると思います。

美術講師　松岡美江　producer 三好和彦（ZNEM）